

# Network Tap MirrorPort Tap

インラインデータ・タッピング装置



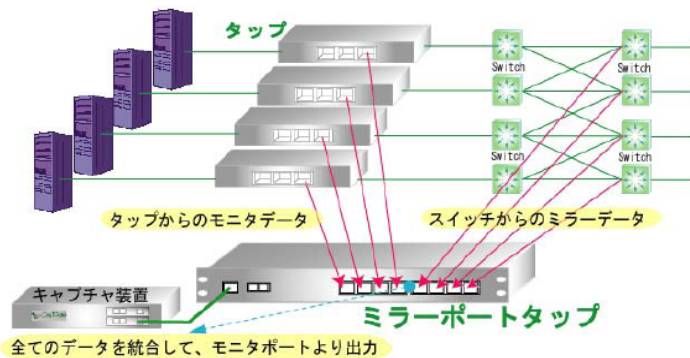
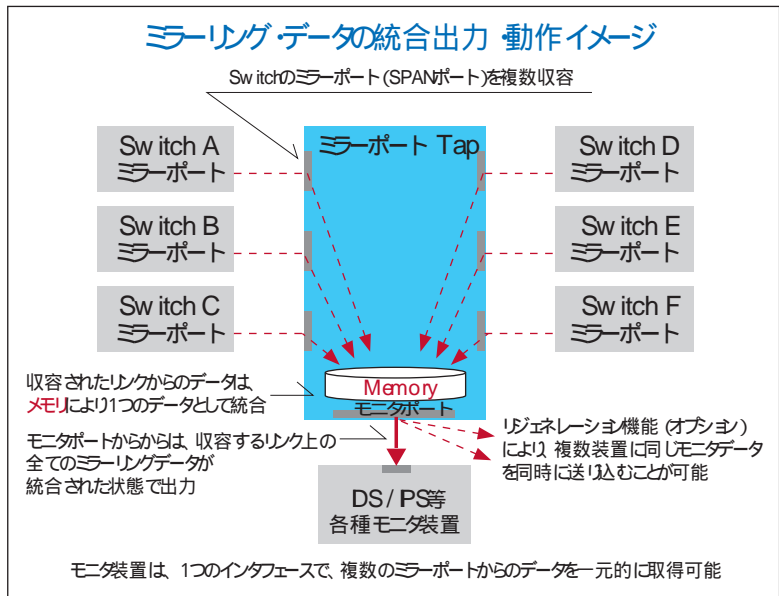
## 特徴

- ミラーポートデータ集配デバイス。
- 複数のミラーリング (SPAN) データを統合して、単一のモニターポートへ出力。
- スイッチに無用な負荷を与えることなくモニターデータの統合が可能。
- 複数のモニター装置を接続可能とするリジェネレーション機能。
- 各種メディアコンバートが可能。
- 各種インターフェース対応モデル。
- 10/100/1000BASE-T
- 1000BASE-SX LX ZX

## 複数のミラーリング (SPAN) データを DS/PS など各種モニター装置へ安全に分岐 供給します。

### ミラーポート・タップの概要

ミラーポート・タップは、スイッチング・ハブのミラーポート (SPAN ポート) からのデータを複数收容し、単一のデータストリームとしてモニターポートより出力するミラーデータ統合デバイスです。内部メモリバッファにより、各スイッチから送られるミラーデータの流量がモニターポートの帯域を越えない限り、適時にパケットの統合、転送処理を実施します。



左図のように、ミラーポート・タップは、他のネットワークタップ製品との連携により、全二重リンク上に配置されたタップからのモニターデータと、スイッチング・ハブからのミラーデータをすべて統合することが可能です。これにより、複数ポイントからのモニターデータをアウトバンド化した、ネットワークへの負荷を掛けることのないモニター用アクセス・ネットワークの構築が可能となります。

ミラーポート・タップは、ネットワークの負荷を低減すると同時に、高価な DS/DP システムの利用台数の削減、モニター装置の負荷分散等リソースの有効活用にも大きく寄与します。